



東洋テクノ株式会社

Contribute with technology and trust

礎

技術と信頼で社会に貢献する

Contribute with technology and trust



現代社会における建築物、土木構造物を支えているのは、目に見えない地下部分にある基礎杭であり、その重要性はますます高まる一方であります。

当社は1949年の創業以来、場所打ちコンクリート杭のリーディングカンパニーとして躍進してまいりました。

現在では拡底部径最大6100mmのEarth-LEX工法や、アースドリル工法では拡底できない中硬岩の岩盤をも拡底するE・Rock工法など、より大きな支持力が得られる新工法の開発を行い、日本の高層建築物を支える、高品質で確実な基礎杭のパイオニアとして社会に貢献しております。

上記以外にも各種場所打ち杭工法、NSエコパイル工法などの工事を行っており、長年の経験と実績により、様々な状況に適したご提案やアドバイス、設計などを行い、確実に信頼される基礎杭の施工に邁進してまいります。

また、1960年からは、清掃工場や製紙工場などの煙突築造工事においても専門業者として歩んできており、今後も社会環境を守る努力をしてまいります。

『技術と信頼で社会に貢献する』東洋テクノを今後とも宜しく願いたします。

代表取締役社長 渡邊 芳春

東洋テクノ株式会社

人と技術を提供する Good Company を目指す

社名	東洋テクノ株式会社
代表者	代表取締役社長 渡邊 芳春
設立年月日	昭和24年7月28日
本社所在地	〒150-0012 東京都渋谷区広尾5丁目4番12号
TEL	03-3444-2141
資本金	661,000,000円
建設業許可	国土交通大臣許可 第3148号 建築、土木、とび・土工、鋼構造物、解体 工事業

場所打ち杭工事

大口径アースドリル式拡底杭工法 (Earth-LEX 工法)
 アースドリル式拡底杭工法 (new ACE 工法)
 中間および先端に拡径部を有する杭工法 (Me-A 工法)
 場所打ち鋼管コンクリート杭 (KCTB 場所打ち鋼管コンクリート杭)
 オールケーシング式拡底杭工法 (E・Rock 工法)
 各種場所打ち杭工法
 ・アースドリル工法・オールケーシング工法・リバース工法
 ・深礎工法・TBH 工法・BH 工法

既製杭工事

NS エコパイル工法 中小径エコパイル工法 各種打込み工事

杭関連工事

構真柱建込み工法 杭頭半接合工法

煙突・サイロ工事

各種煙突 (設計・施工) サイロ新設工事 RC 造煙突の耐震・耐久診断
 煙突の点検調査・補修工事 煙突の改造工事

その他工事

各種アンカー工法 地中障害物撤去工法



会社沿革

■1949

『東洋コンプレッソル株式会社』
 『田中工業株式会社』両社の有志
 により『東洋基礎工業株式会社』を
 福岡県八幡市に創立。
 発足当時はベデスタル工事に専念

■1952

本社を東京に移転

■1959

創立10周年を記念し、
 大阪営業所を開設



東京中央郵便局に使用
 されたベデスタル杭
 (東洋コンプレッソル(株)施工)

■1960

RC 製煙突
 ・サイロ
 ・高架水槽工事
 を開始

■1961

パイプロ杭打機を開発
 アースドリル工法を導入

■1964

福岡営業所を開設

■1965

PS アンカー工法導入
 広島営業所を開設

■1967

AHS パイル(旭化成)の販売代理店
 となる共同出資により海洋工業株式
 会社を創立

■1969

創立20周年を記念し、厚木技術研
 究所および名古屋営業所を開設
 重機部門の独立により
 明和機械株式会社を創立

■1969～1973

各種工法の導入進む
 『リバース工法』
 『薬液注入工法』
 『パッドドレーン工法』
 『ケミコラム工法』
 『地中壁工法』

■1974

創立25周年を記念し仙台営業所開設

■1974～1976

『VSL 工法』
 『動圧密工法』
 『タフネルドレーン工法』
 『フリーフレーム工法』導入

■1979

東洋式拡底リバース
 掘削機の開発につい



東洋式拡底リバース
 掘削機 (TFP)

て機械振興協会賞 発明大賞
 笹川特別賞を受賞

■1980

サンドコンパクション工法を導入

■1984

NKTB 場所打鋼管コンクリート杭を
 共同開発
 創立35周年記念で札幌支店を開設

■1986

ACE 工法を共同開発
 (アースドリル式拡底工法)

■1987

『回転式オールケーシング工法』
 『センターコア除去アンカー工法』
 を導入

■1988

SKTB 場所打鋼管コンクリート杭、
 永久アンカー工法を共同開発

■1989

Uターン除去アンカー工法を導入

■1991

CIを導入し東洋テクノ株式会社
 に社名を変更

■1998

ガンテツパイル工法を導入

■1999

NS エコパイル工法を導入

■2007

new ACE 工法
 (アースドリル式拡底工法)を共同開発

■2009

KCTB場所打鋼管コン
 クリート杭を共同開発

■2014

Me-A 工法
 (中間および先端に
 拡径部を有する場所
 打ちコンクリート杭)を共同開発



Me-A(1) 杭掘り起こし

■2020

E・Rock 工法 (オールケーシング
 式拡底工法)を共同開発

■2022

拡底工法で最大の
 バケット径となる
 Earth-LEX™ 工法
 (アースドリル式
 拡底工法)を共同開発



Earth-LEX 工法
 拡底バケット



Earth-LEX工法拡底バケット
(最大拡底径 φ6,100mm)



掘起こし杭
軸部径 φ2,600mm / 拡底径 φ6,100mm
立ち上がり高さ1.5m

拡底径φ6,100mmの拡底杭が築造可能な最新のアースドリル式の拡底杭工法です

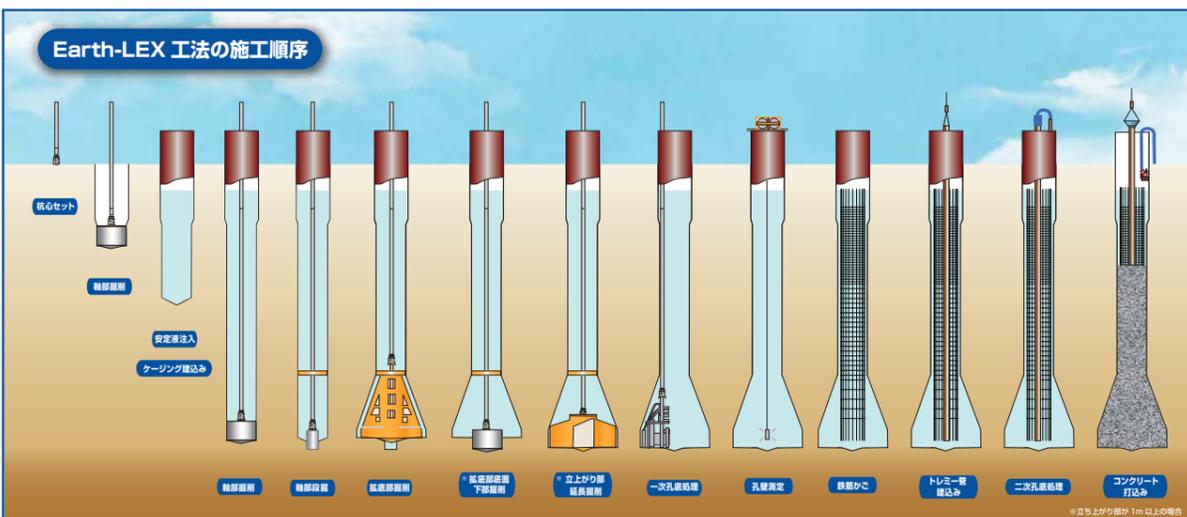
Earth-LEX 工法は従来杭工法では最大の拡底バケットにより拡底径 6,100mm まで施工できる、今までにない革新的なアースドリル式の拡底杭工法です。

従来工法よりも 1.6 倍以上の有効先端面積を持ち、コンクリート強度も 80N/mm² の超高強度まで適応可能で、高支持力により超高層ビルを支えます。

また、立ち上がり高さは 1.5m まで施工可能です。

杭種	場所打ちコンクリート拡底杭
最大杭先端径	直径 6,100mm
最大施工深さ	86.8m(newACE 工法と同等)
コンクリート強度	Fc = 24~80 N/mm ²
工法の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・超高支持力が採用可能 ・コンクリート量と排土量の削減 ・孔底処理が確実 ・拡大量の管理が容易 ・掘削深度の確認が容易 ・全工程を同一機械で施工可能

バケット形式	軸部径 (D)mm	拡底部径 (D)mm
2661 型	2,600~4,000	2,600~6,100



軸部径φ1,300mm/拡底部径φ2,700mm
砂礫地盤での掘起こし杭



軸部径φ2,000mm/拡底部径φ4,400mm
ローム地盤での掘起こし杭

コンクリート量と掘削残土量をさらに減少させます

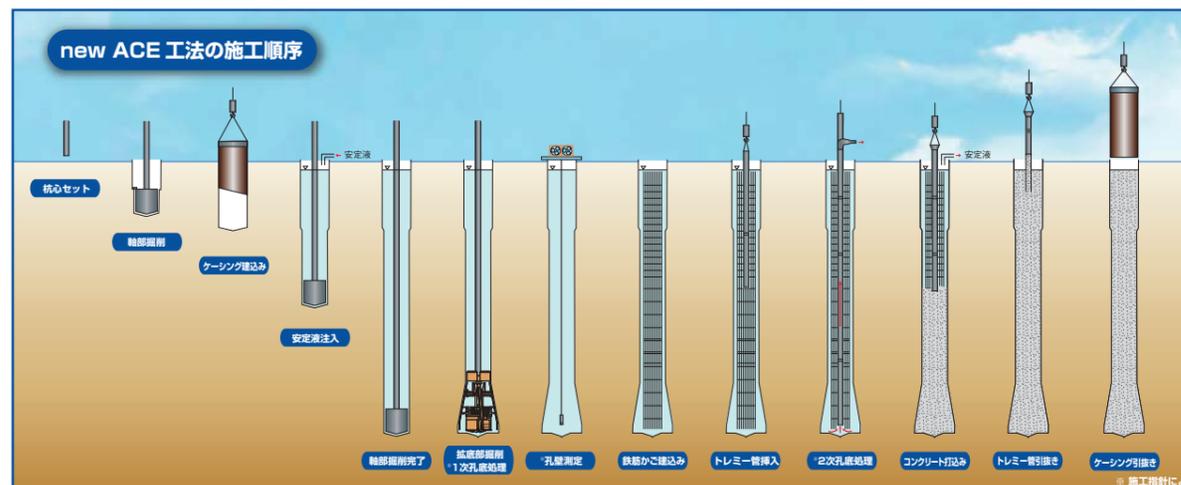
newACE 工法はアースドリル式の拡底杭工法です。

従来工法に比べ杭体積の減少を実現することにより、排土量とコンクリート量の削減を可能にしました。

また、施工管理を容易にすることにより、施工を確実に行うことが可能です。さらに、近年の大支持力需要に応え、高強度コンクリートでも施工可能となりました。

杭種	場所打ちコンクリート拡底杭
最大杭先端径	直径 4,800mm
最大施工深さ	86.8m (実績)
コンクリート強度	Fc = 18~60 N/mm ²
工法の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート量と排土量の削減 ・孔底処理が確実 ・拡大量の管理が容易 ・掘削深度の確認が容易 ・全工程を同一機械で施工可能

バケット形式	軸部径 (d)mm	拡底部径 (D)mm	バケット形式	軸部径 (d)mm	拡底部径 (D)mm
0815 型	800 ~ 1,300	800 ~ 1,400	1531 型	1,500 ~ 3,000	1,500 ~ 3,100
	900 ~ 1,400	900 ~ 1,500		1,700 ~ 2,900	1,700 ~ 3,000
1016 型	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,600	1731 型	1,800 ~ 3,000	1,800 ~ 3,100
1017 型	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,600	1735 型	1,700 ~ 3,400	1,700 ~ 3,500
	1,100 ~ 1,600	1,100 ~ 1,700		1,800 ~ 3,100	1,800 ~ 3,200
1019 型	1,000 ~ 1,800	1,000 ~ 1,900	1833 型	1,900 ~ 3,200	1,900 ~ 3,300
1219 型	1,200 ~ 1,800	1,200 ~ 1,900	1839 型	1,800 ~ 3,800	1,800 ~ 3,900
1222 型	1,200 ~ 2,100	1,200 ~ 2,200	2036 型	2,000 ~ 3,500	2,000 ~ 3,600
	1,300 ~ 2,200	1,300 ~ 2,300		2,000 ~ 3,500	2,000 ~ 3,600
1324 型	1,400 ~ 2,300	1,400 ~ 2,400	2037 型	2,100 ~ 3,600	2,100 ~ 3,700
	1,300 ~ 2,600	1,300 ~ 2,700		2,000 ~ 3,600	2,000 ~ 3,600
1327 型	1,300 ~ 2,600	1,300 ~ 2,700	2044 型	2,000 ~ 4,000	2,000 ~ 4,400
1526 型	1,500 ~ 2,500	1,500 ~ 2,600	2241 型	2,200 ~ 3,900	2,200 ~ 4,000
	1,500 ~ 2,500	1,500 ~ 2,600		2,300 ~ 4,000	2,300 ~ 4,100
1527 型	1,600 ~ 2,600	1,600 ~ 2,700	2248 型	2,200 ~ 4,000	2,200 ~ 4,800
				2,200 ~ 4,000	2,200 ~ 4,800





軸部径 φ1,000mm 拡径径 φ1,500mm
Me-A(1)掘起こし杭

高支持力・高引抜き耐力を得られ、 コンクリート量・排出土量を削減出来ます

Me-A 工法は（一財）ベターリビングより支持力評価を受けたアースドリル式拡径杭工法です。中間拡径部を有する Me-A(1) 杭、有しない Me-A(2) 杭があり、いずれも従来設計で考慮できなかった拡径部や拡底部の張り出しによる抵抗力を考慮できるようになりました。押し込み方向、引抜き方向の支持力が大きくなり、必要なコンクリート量・排出土量が削減できます。

杭種	中間および先端に拡径部を有する 場所打ちコンクリート拡径杭
最大杭先端径	直径 4,800mm
最大施工深さ	56.0m（施工地盤から中間拡径部下端） 86.8m（最大深度：newACE 工法と同等）
コンクリート強度	Fc = 18~60 N/mm ²
工法の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・中間拡径部により高支持力が可能 ・拡径部の押し込み・引抜き抵抗および拡底部の引抜き抵抗を評価し、杭長を短くできる ・施工方法は newACE 工法と多くの点で共通しており、施工管理が容易

軸径と拡大径の組合せ

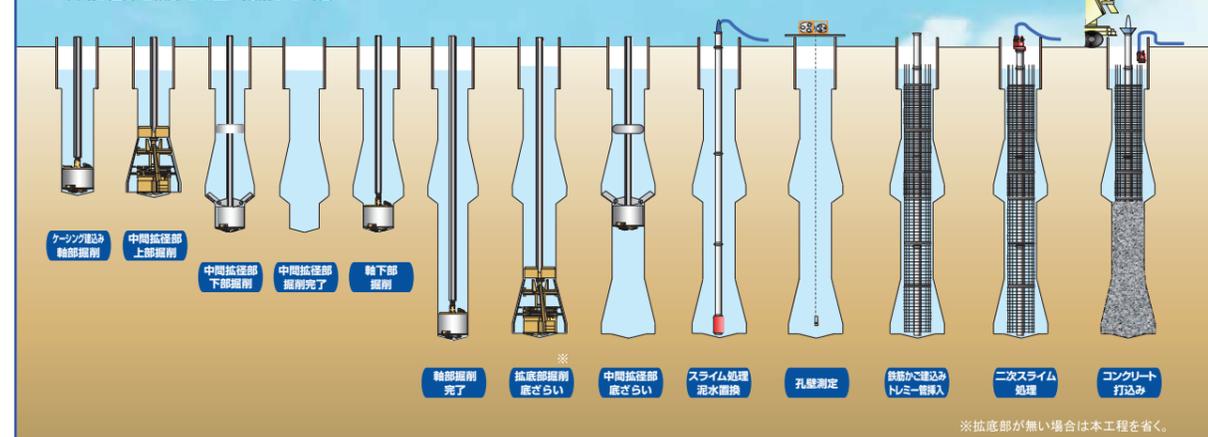
単位 (mm)

軸径	1,000 1,100	1,200	1,300 1,400	1,500 1,600	1,700	1,800 1,900	2,000 2,100	2,200 ~4,000
最大拡大径有効径 (施工径)	1,800 (1,900)	2,100 (2,200)	2,600 (2,700)	3,000 (3,100)	3,400 (3,500)	3,800 (3,900)	4,300 (4,400)	4,700 (4,800)
最大の拡径率*	3.24 2.68	3.06	4.00 3.45	4.00 3.52	4.00	4.46 4.00	4.62 4.19	4.56 ~1.38
最大の拡径比*	1.80 1.63	1.75	2.00 1.86	2.00 1.88	2.00	2.11 2.00	2.15 2.05	2.14 ~1.18

*拡径率=(拡径部断面積)/(軸部断面積)、拡径比=(拡径部径)/(軸部径)

Me-A工法の施工順序

~中間拡径部と軸部を交互に掘削する場合~



鋼管の建込み状況



鋼管内部



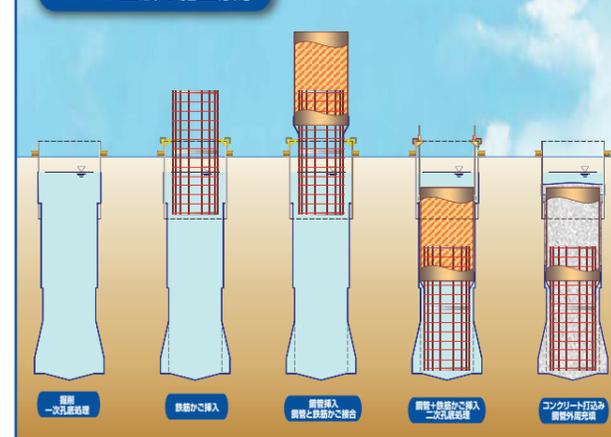
杭頭接合部

杭頭補強として内面突起付き鋼管を設置し、 高い耐震性能が発揮されます

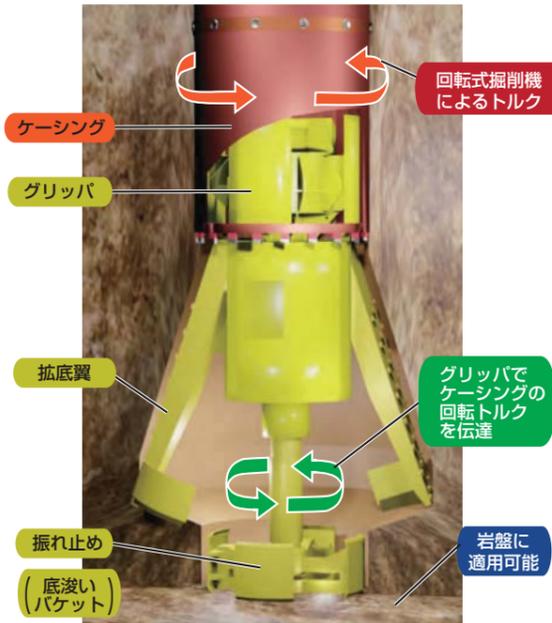
KCTB 場所打ち鋼管コンクリート杭は、強度が高く靱性のある内面突起付き鋼管を補強として杭頭部に設置することで、高い耐震性を杭に持たせることができます。鋼管仕様は幅広く対応しているため設計の自由度も高く、拡径杭工法を併用することで、より経済的な杭の設計が可能となります。

杭種	場所打ち鋼管コンクリート杭
鋼管厚	9mm ~ 25mm
鋼管径	700mm ~ 2,700mm
コンクリート強度	Fc = 18~45 N/mm ²
工法の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・靱性が大きく耐震性が高い ・曲げ耐力・せん断耐力が大きい ・鉄筋コンクリート杭と比較して軸部径を小さくでき、排土量とコンクリート量を削減 ・拡径杭工法と組合せて、支持力と水平耐力の双方で高性能を発揮

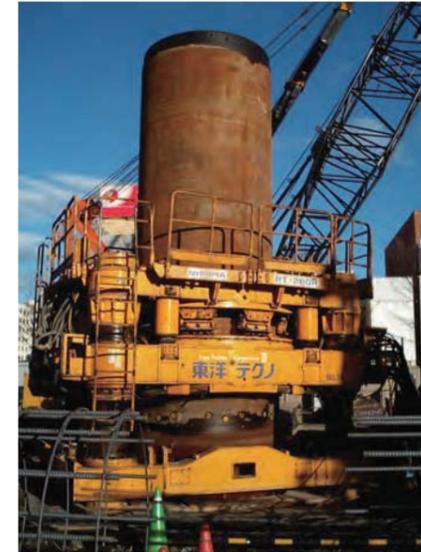
KCTB 工法の施工順序



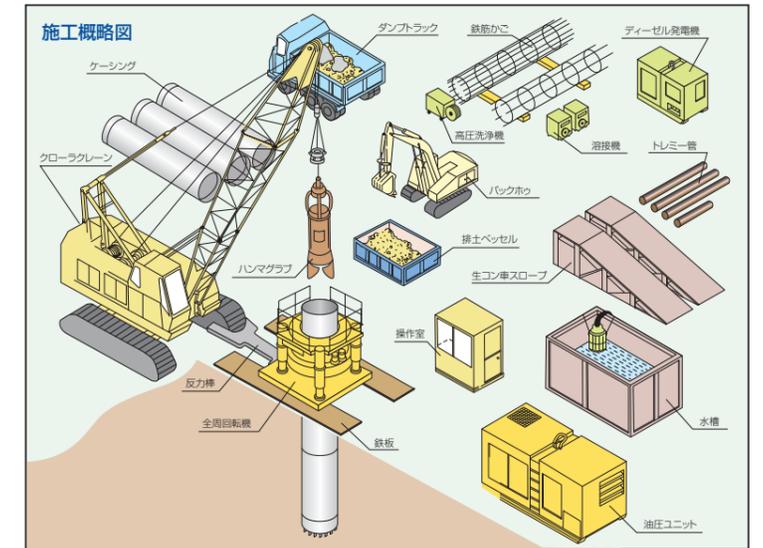
外径 (mm)	板厚 (mm)																								
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25								
700	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
800	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
900	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,000	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,100	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,200	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,300	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,400	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,500	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,600	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,700	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,800	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
1,900	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,000	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,100	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,200	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,300	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,400	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,500	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,600	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
2,700	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	



E・Rock ビット掘削概要図



ハンマグラブでの掘削



岩盤も掘削可能なオールケーシング式拡底杭工法です
障害撤去工事との併用も可能です

E・Rock 工法は従来直杭のみだったオールケーシング工法で拡底杭を築造でき、大きな支持力が採用可能です。回転式掘削機の高トルクを利用して掘削を行うため、アースドリル工法では掘削不可能な中硬岩までの岩盤で拡底掘削可能です。また、オールケーシング工法をベースにしているため、障害撤去工事との併用も可能で、様々な施工条件の現場で、最適な施工法として採用されています。

工法種別	オールケーシング式拡底杭工法
軸部径	1,800mm ~ 3,000mm
拡底径	1,800mm ~ 3,500mm
コンクリート強度	Fc = 18~45N/mm ²
工法の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・岩盤が掘削可能 (中硬岩まで) ・一般土質にも適用可能 ・高トルクのため、掘削性能が高い ・障害撤去工事との併用が可能 ・オールケーシング工法のため、鋼管で孔壁が保護され、表層軟弱層にも適用可能

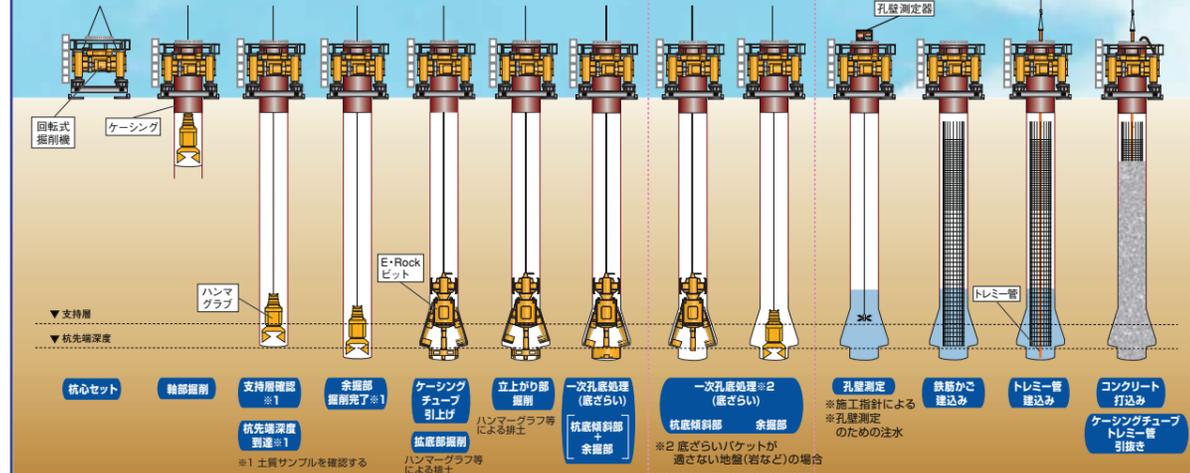
高トルクの回転式掘削機により、岩盤や地中障害物を掘削可能で、高い施工精度で杭を築造できます

オールケーシング工法は、ケーシングチューブを掘削孔全長に回り回転圧入しながら地盤を切削し、土砂をハンマグラブにて掘削・排土する場所打ち杭工法です。高トルク・高圧入力により巨石・岩盤や既存杭などの地中障害物も切削可能で、高い精度での施工が可能な工法です。

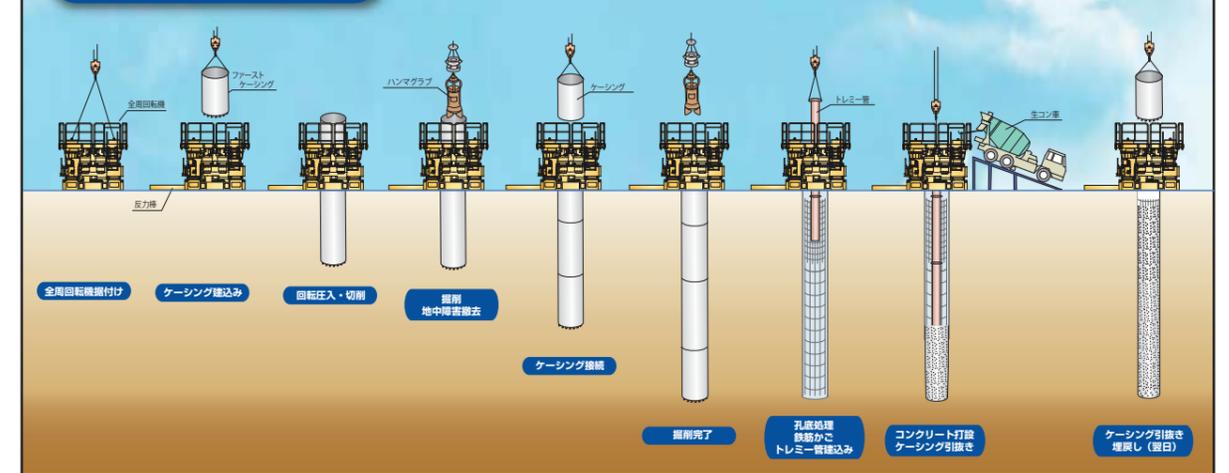
工法種別	オールケーシング工法	
機種別 掘削径	RT150AII	1,000mm ~ 1,500mm
	RT200H	1,000mm ~ 2,000mm
	RT200AIII	1,000mm ~ 2,000mm
	RT260H	1,500mm ~ 2,600mm
	RT300III	2,000mm ~ 3,000mm
	RT320	2,300mm ~ 3,200mm

E・Rock 工法の施工順序

■ 施工法 安定液を使用しない場合 (対象土質: 岩など) 施工順序図



オールケーシング工法の施工順序





掘削



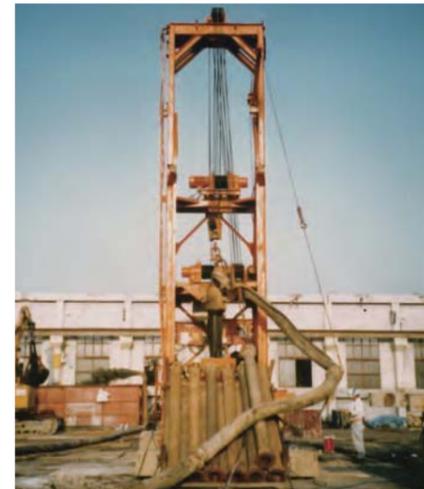
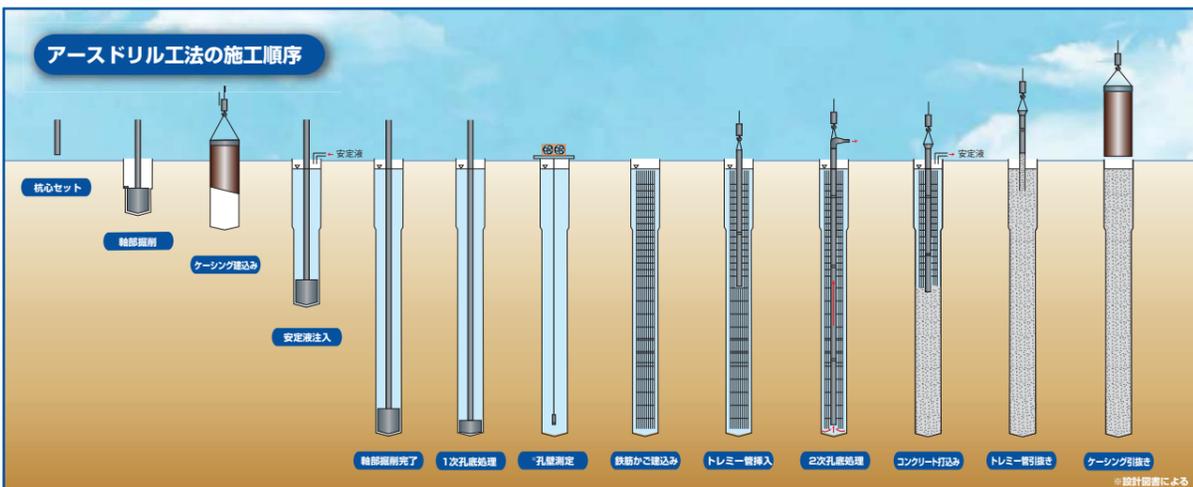
鉄筋かご建込



コンクリート打設

アースドリル工法は数多くの実績があり、
施工条件に合わせて確実な施工管理を行います
東洋テクノでは、拡底杭工法以外のアースドリル工法も
施工しています。アースドリル工法では安定液により
孔壁保護を行うため、工期は比較的短く、経済的です。
弊社では長年の実績から、様々な施工条件に合わせて
最適な施工方法をご提案します。

工法種別	アースドリル工法
軸部径	800mm ~ 3,000mm
最大掘削長	82.8m (実績)



ロータリーテーブルによりビットを回転させて掘削し、土砂を逆循環させて泥水と共に地上に排出させます

リバース工法とはリバースサーキュレーションドリル工法のことです。ドリルビットをロータリーテーブルによって回転させることで地盤を掘削し、掘削土砂をドリルパイプを通して地上に揚泥する工法です。表層部の崩壊性のある地盤などは鋼製のスタンドパイプにより保護し、スタンドパイプに深は泥水により作用する静水圧により孔壁を保護します

工法の特長：

- 低振動・低騒音
- 掘削孔の泥水によって、静水圧により孔壁を安定させる。
- 大口径の掘削が可能
- 大深度の掘削が可能

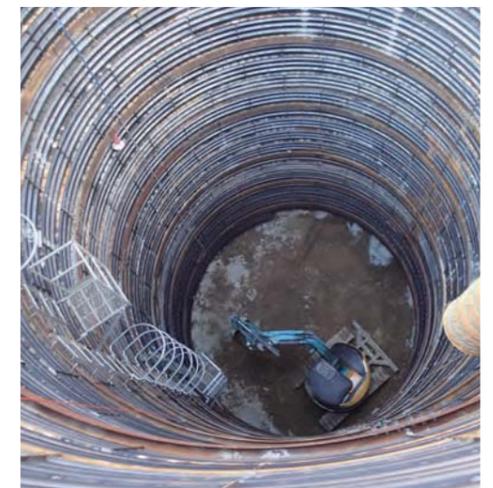
深礎工法

人力および機械によって掘削を行うため、岩盤層や転石・地中障害物がある場合でも掘削が可能です

深礎工法は人力、または機械によって掘削を行います。主に孔壁保護はライナープレートあるいはモルタル吹付により行われます。地中障害物や転石がある場合でも掘削が可能です。湧水が多く水の汲み上げが出来ない地層では掘削が不可能となります。

工法の特長：

- 狭い敷地や傾斜地、または根切り面からの施工が可能
- 大口径の掘削が可能
- 岩盤・転石・地中障害物がある条件でも施工が可能



BH 工法、TBH 工法



BH 工法および TBH 工法は大口径ボーリング機械により掘削を行います

共に低空頭・狭小空間での施工が可能で、高架下や屋内での施工によく使われます。

BH 工法は泥水の循環が正循環方式を採用しているのに対し、TBH 工法はリバース工法と同じ逆循環方式を採用しているため、孔底処理の性能が BH 工法よりも優れています。

工法の特長：

- 施工機械が小型のため、狭小空間での施工が可能
- 前面道路が狭くても搬出入が可能
- 機械組み立て・解体時に重機を用いる必要が無い



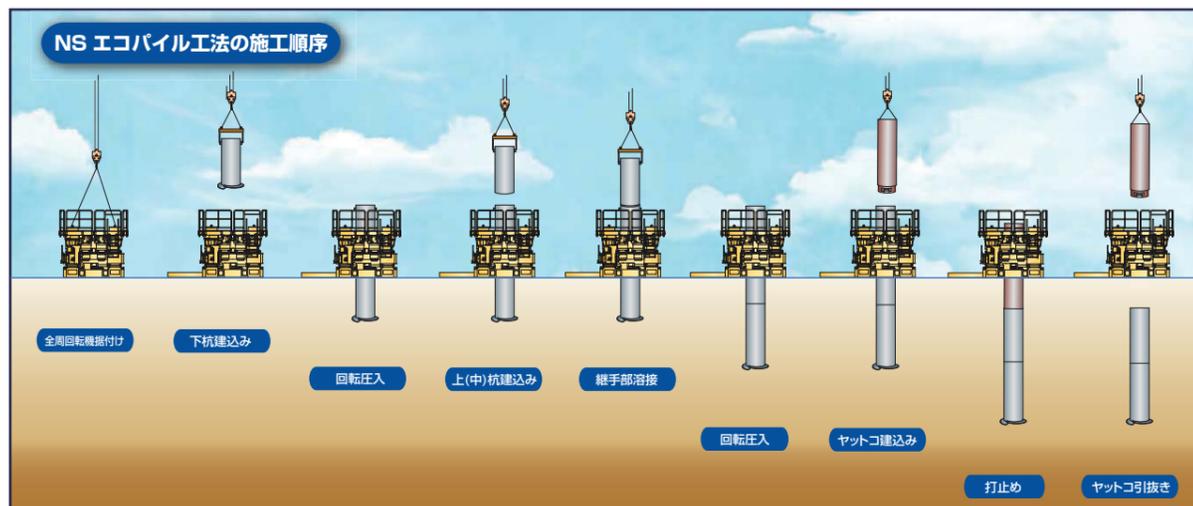
施工管理装置



先端羽根の形状

大きな鉛直支持力を持つ回転圧入鋼管杭で、排土が無く、低騒音・低振動な工法です。杭の先端にらせん状の羽根を設けており、杭を回転させて圧入していくため、掘削土が排出されません。先端の羽根により先端面積が大きいため、大きな支持力を期待できます。さらに、逆回転させることで杭の引抜きも可能なため、環境に配慮された工法と言えます。専用の施工管理装置を用いて、確実な施工管理を行い、支持層判断に使用されるトルク値などが記録可能です。

工法種別	回転圧入鋼管杭（既製杭工法）
杭径	100～1,600mm
最大羽根径	2,400
最大深度	70m 以下 かつ 杭径の130 倍以下
支持層	N 値15 以上の砂質土または礫質土
工法の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・回転圧入杭のため無排土施工が可能 ・先端羽根の掘削効果により支持力大きい ・貫入時と逆回転させて杭体の引抜きが可能 ・杭径や鋼管厚さなど組合せが豊富で、経済的な設計が可能 ・他工法と比べて搬入車両が少ない



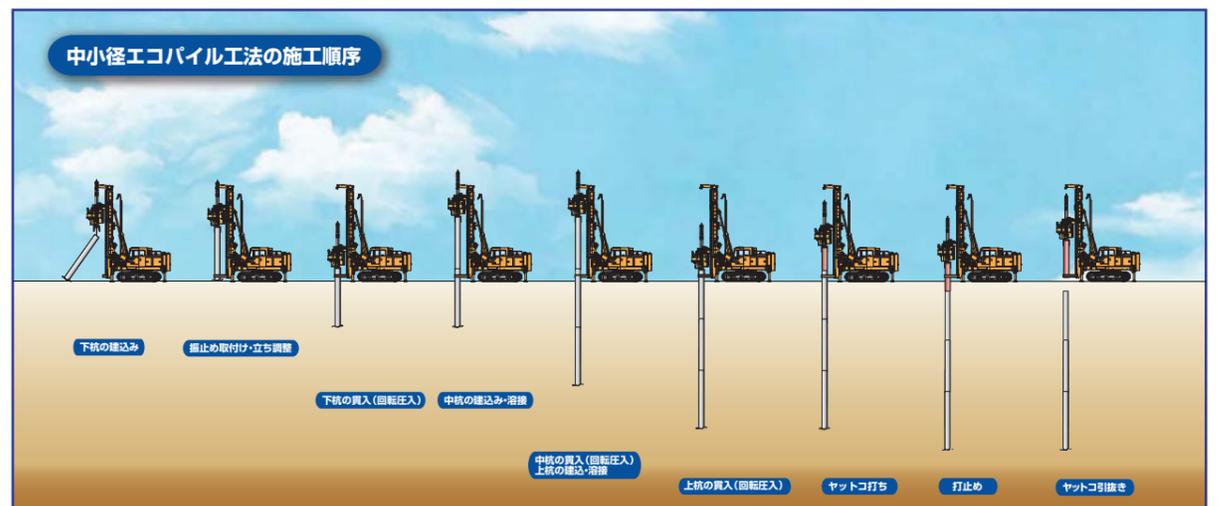
施工機械一覧

型式	DHJ-06	DHJ-08	DHJ-12	DHJ-15	DHJ-25	DHJ-25 SSP4	DHJ-45
リーダー最低高	1.98m	5.91m	5.06m min=3.0m	5.26m min=3.0m	5.26m min=3.5m	4.3m	3.9m
全幅	1.78m	1.95m	2.42m	2.50m	2.53m	2.77m	3.44m
全長	4.26m	3.95m	5.04m	5.24m	5.72m	6.40m	7.48m
全備重量	7.2t	9.4t	13.8t	16.6t	29.5t	44.3t	54.8t
適用杭径(mm)	~φ165.2	~φ165.2	~φ267.4	~φ318.5	~φ400	~φ600	~φ700

※適用杭径は地盤により変更することもあります

施工機械がコンパクトで単独施工でき、狭小地 / 近接施工 / 上空制限でも施工可能です。NS エコパイル工法と同じ、回転圧入する鋼管杭工法です。専用の施工機械が小型でかつコンパクトのため、狭小地や隘路の先の現場でも施工することができます。またリーダーが伸縮しますので、上空に架線や既存建物がある場合でも、条件によっては施工可能です。

工法種別	回転圧入鋼管杭（既製杭工法）
杭径	139.8～900mm
最大羽根径	1,500
最大深度	55.2m 以下 かつ 杭径の130 倍以下
支持層	N 値15 以上の砂質土または礫質土
工法の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・回転圧入杭のため無排土施工が可能 ・先端羽根の掘削効果により支持力大きい ・貫入時と逆回転させて杭体の引抜きが可能 ・杭径や鋼管厚さなど組合せが豊富で、経済的な設計が可能 ・他工法と比べて搬入車両が少ない



全国各地の清掃工場（ごみ焼却場）製紙工場・セメント工場・製鉄工場の煙突工事について、自社の設計施工で多くの実績があります。



内外筒式煙突 100mh

東洋コンプレッソル(株)(明治40年(1907年)創設)の煙突築造部門を前身とし、昭和35年(1960年)煙突部門を継承し、東洋テクノ(株)建築本部として煙突・サイロを施工しています。
煙突・サイロ等の塔状構造物の設計施工はもとより、既設構造物の点検・調査・耐震補強・解体工事等一貫した施工管理体制にて、総合技術を提供し、お客様より多くのご信頼を得ております。

ジャンピング工法

ごみ焼却場、製紙工場及びセメント工場等の高層煙突(50m~120mクラス)築造に適した工法です。鋼製型枠とブラケット型足場を一体化した外部足場で施工します。

特長

枠組及びくさび式足場が小量で、経済的にメリットがあります。また、煙突の特殊形状にも追従でき、安全性及び施工性に優れています。



スライディング工法

超高層煙突(100m~200m以上)築造に最適な工法です。品質及び安全性の向上と工期短縮を実現しています。

特長

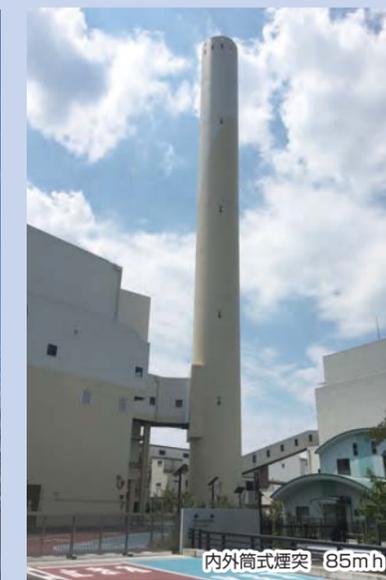
装置組立後、毎日コンクリート打設が出来ます(打設高:約1.5m/日)ので工期短縮が図れ、また極小スペースでの作業が可能です。



内外筒式煙突 80mh



内外筒式煙突 100mh



内外筒式煙突 85mh



内外筒式煙突 80mh



内外筒式煙突 120mh



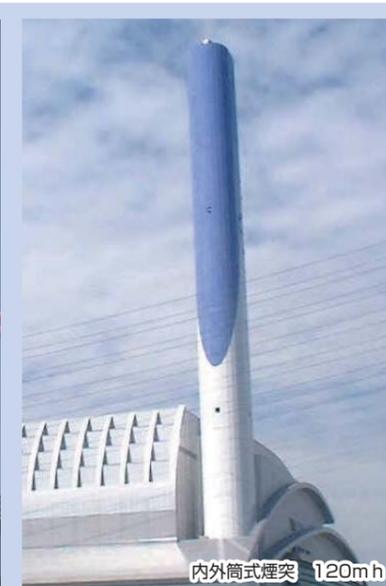
内外筒式煙突 80mh



内外筒式煙突 150mh



内外筒式煙突 120mh



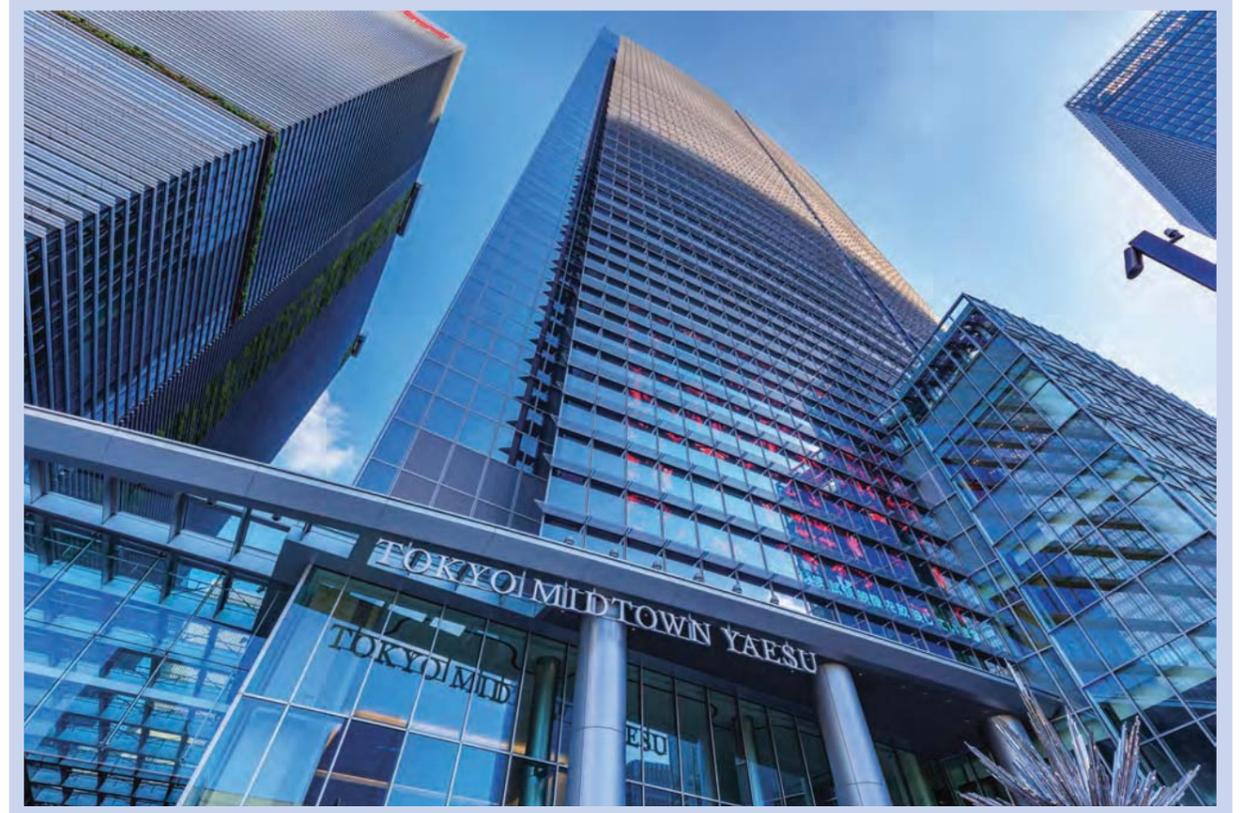
内外筒式煙突 120mh



セメントサイロ



さっぽろ創生スクエア（北海道）
（オールケーシング工法＋構真柱建込み工事）



東京ミッドタウン八重洲（東京都）
（new ACE 工法）



秋田市役所新庁舎（秋田県）
（new ACE 工法）



横浜市府舎（神奈川県）
（new ACE 工法＋KCTB 場所打ち鋼管コンクリート杭）



名古屋中央郵便局（愛知県）
（new ACE 工法 + 構真柱建込み工事）



出雲大社宇迦橋の大鳥居耐震補強工事（島根県）
（NS エコパイル工法）



大阪駅新北ビル（大阪府）
（new ACE 工法）



長崎県警本部庁舎（長崎県）
（オールケーシング工法 + KCTB 場所打ち鋼管コンクリート杭）



東洋テクノ株式会社

本 社	〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-4-12(大成鋼機ビル6F) TEL.03-3444-2141 FAX.03-3446-6481
東 京 支 店	〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-4-12(大成鋼機ビル2F) TEL.03-3444-2146 FAX.03-3444-2773
建 築 本 部	〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-4-12(大成鋼機ビル2F) TEL.03-3444-2143 FAX.03-3444-9436
札 幌 支 店	〒060-0061 札幌市中央区南1条西8-1-1(クリスタルタワー 6F) TEL.011-272-0311 FAX.011-272-0344
仙 台 支 店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-5-15 (日本生命仙台勾当台南ビル 8F) TEL.022-224-1698 FAX.022-224-1696
名 古 屋 支 店	〒460-0022 名古屋市中区金山 1-14-18 (A-PLACE 金山 8F) TEL.052-322-5796 FAX.052-322-5795
大 阪 支 店	〒550-0005 大阪市西区西本町 1-15-6 (西本町ビル 9F) TEL.06-6534-6652 FAX.06-6534-1010
広 島 支 店	〒730-0032 広島市中区立町 1-20 (NREG 広島立町ビル 5F) TEL.082-247-2541 FAX.082-247-2542
福 岡 支 店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-10-1 (JR 博多駅東 NSビル 8F) TEL.092-451-2274 FAX.092-451-2276
厚木機材センター	〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 1110-2 TEL.046-285-5720 FAX.046-285-5999
営 業 品 目	各種工事 (場所打ち杭、打込、煙突・サイロ、調査試験) 一般建築・土木工事、設計コンサルタント

<https://www.toyotechno.co.jp/>



記載事項に関する注意事項

- ・本カタログの記載内容は、評定内容更新等のために予告なく変更する場合がございます。ご利用に際しては、最新の情報をご確認ください。
- ・本カタログの記載内容を許可無く転載・複製することを禁止いたします。